

2025 年度第 1 四半期業績発表

2025 年 5 月 15 日

エボニック、順調な 1 年のスタートを切る – 見通しを確定

- ・ 第 1 四半期の調整後 EBITDA は 7%増加
- ・ フリーキャッシュフローは大幅に増加、販売数量も増加
- ・ 景気の不透明感が増す中、業績見通しは良好

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン 以下「エボニック」)は、厳しい経済環境にもかかわらず、2025 年 1~3 月期に前年同期比で増益を達成しました。調整後 EBITDA(支払利息・税金・減価償却費控除前利益)は 5.6 億ユーロで、良好な前年実績を 7%上回りました。この増益は、販売数量の増加やアニマルニュートリション部の想定を上回る販売価格、さらに継続的なコスト管理によるものです。

取締役会長(CEO)のクリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)は、「今年は幸先の良いスタートを切ることができました。ただ、迫り来る世界貿易戦争と武力紛争の影響により、今後の計画はこれまで以上に不透明なものとなっています。特に下半期には、さらなる景気減速のリスクが高まると予想しています」と述べています。

第 1 四半期の販売数量は、前年同期比で 2%増加し、販売価格は 2%下落しました。売上高はほぼ横ばいの 37.8 億ユーロでした。調整後 EBITDA マージンは 1%ポイント上昇し 14.8%となりました。純利益は 2.33 億ユーロ(前年同期は 1.56 億ユーロ)、フリーキャッシュフローは 53%増の 1.95 億ユーロでした。

最高財務責任者(CFO)のマイケ・シュー(Maike Schuh)は、「効率化への取り組みが定着しつつあります。経済に対する懸念が再燃している中で、これは急務となっています。予測不可能な環境であればあるほど、進むべき道は一層明確であるべきで、計画に従って改善を実現しなければなりません」と述べています。

年初の数ヶ月で経済情勢は厳しさを増し、米国の保護貿易主義的政策の強化により不確実性がさらに高まっています。しかしながら、エボニックは年初に好スタートを切れたことを受け、業績予想を確定しました。2025 年の調整後 EBITDA は引き続き 20 億ユーロから 23 億ユーロの範囲を見込んでいます。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

アニマルニュートリション部の価格動向が予想を上回ったことが、第 1 四半期の増益を後押ししました。この傾向は少なくとも第 2 四半期まで続く見込みです。2025 年のキャッシュ・コンバージョン・レートは引き続き約 40%、資本支出はほぼ横ばいの 8.5 億ユーロを見込んでいます。ROCE(使用資本利益率)は今年さらに改善する見通しです。

エボニックは、コスト管理に重点を置き、組織の効率化を図る「エボニック・テラーメイド」プログラムや事業内の様々な最適化プロジェクトに取り組むことで、外部要因に依存しない企業を目指しています。他の改善プログラムと併せて、「テラーメイド」は今年度に数十億ユーロのコスト削減を達成し、収益増に大きく貢献する予定です。マネジメントモデルをスリム化し、コーポレートのユニット数を削減した新しい組織構造を導入しました。第 2 四半期の初めには、事業部門のマネジメント階層を撤廃しています。その結果、化学事業は 2 つのセグメントに集約され、現在は取締役会の担当役員が直接運営を行っています。

エボニックは、2025 年 5 月 22 日に開催するキャピタルマーケットデーにおいて、戦略的方向性や目標についてより詳しい情報を提供する予定です。

事業部門ごとの業績

スペシャルティアダプティブス:

2025 年度第 1 四半期の売上高は 1%増の 9.23 億ユーロでした。これは販売数量がわずかに増加したことと為替のプラス効果によるものです。販売価格は前年同期をわずかに下回りました。塗料・コーティング業界向け製品は好調で、販売数量は著しく増加し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。クロスリンカー事業は、販売数量の増加を背景に売上高が増加しました。オイルアダプティブス部も世界的な販売数量の増加により売上高が増加しました。ポリウレタンフォーム用添加剤や耐久消費財用の添加剤は、販売数量の減少により、売上高が前年を下回りました。調整後 EBITDA は 1%増の 2.01 億ユーロでした。調整後 EBITDA マージンは 21.9%で、前年同期(21.8%)と同水準で推移しました。

ニュートリション&ケア:

2025 年度第 1 四半期の売上高は、主に販売数量の増加により 12%増の 10.07 億ユーロでした。必須アミノ酸事業(アニマルニュートリション部)の売上高は、販売数量の大幅な増加と、顧客からの供給契約解除に伴う補償金の支払いにより増加しました。ヘルスケア部は、原薬事業が好調に推移し、増収となりました。ケア製品の売上高は、販売数量に関連する要因により前年同期

比で減少しました。調整後 EBITDA は 35%改善し、1.97 億ユーロとなりました。これは主に、顕著な販売数量の増加、アニマルニュートリション部の事業モデルの最適化による経費節減、および補償金の支払いによるものです。調整後 EBITDA マージンは前年同期の 16.2%から 19.6%へと大きく上昇しました。

スマートマテリアルズ:

2025 年第 1 四半期は、販売数量および販売価格が概ね前年同期並みとなり、売上高はほぼ横ばいの 10.98 億ユーロでした。無機製品は、全体的に需要がわずかに増加し、販売価格も安定しましたが、貴金属価格の下落もあり、売上高はわずかに減少しました。ポリマー事業では、販売数量の増加と販売価格のわずかな改善により売上高が増加しました。調整後 EBITDA は 1.49 億ユーロで、ライセンス収入を含む前年同期を 7%下回りました。調整後 EBITDA マージンは前年同期の 14.6%から 13.6%に減少しました。

エボニック・グループ: 損益計算書(抜粋)

(単位:100 万ユーロ)	第 1 四半期		
	2024	2025	増減(%)
売上高	3,796	3,777	-1
調整後 EBITDA	522	560	7
調整後 EBIT	266	309	16
調整	-14	-10	
純金融費用	-33	-29	
税引前利益(継続事業)	219	270	23
法人税等	-59	-34	
税引後利益(継続事業)	160	236	48
税引後利益(非継続事業)	-	-	
税引後利益	160	236	48
非支配持分	4	3	
当期純利益	156	233	49
調整後当期純利益	197	275	40

各事業部門の業績(第1四半期)

(単位:100万ユーロ)	売上			調整後 EBITDA		
	2024	2025	増減(%)	2024	2025	増減(%)
スペシャルティアディティプス	915	923	1	200	201	1
ニュートリション&ケア	900	1,007	12	146	197	35
スマートマテリアルズ	1,094	1,098	-	160	149	-7
インフラストラクチャー	832	708	-15	66	61	-8
イネープリング機能、その他の活動、統合	55	41	-25	-50	-48	4
グループ全体	3,796	3,777	-1	522	560	7

前年度数値は修正表示

エボニック・グループの事業部門別従業員数

	2024年12月 31日	2025年3月 31日
スペシャルティアディティプス	5,048	5,020
ニュートリション&ケア	5,900	5,832
スマートマテリアルズ	8,486	8,361
インフラストラクチャー	4,169	4,008
イネープリング機能、その他の活動、統合	8,327	8,364
グループ全体	31,930	31,585

前年度数値は修正表示

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2024年度は、152億ユーロの売上、21億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、約32,000人の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2025年5月12日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)